

# 事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	千代田公民館運営事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			10	04	02	10	政策経費	根拠法令
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象
	第2節 生涯学習の充実						市民協働	行政の関与
	[1] 生涯学習						担当課係等	千代田公民館
事業期間	5 地区公民館活動と地域活性化運動							学習係
	継続（ 年度～ ）							

## 現状把握の部 (D0)

【目的】 生涯学習の中核として、時代に即した生活・趣味・教養・親子ふれあい・健康増進などの講座を通じ、地域住民の教養・文化意識の高揚を高める。	【関連事業】 生涯学習推進・女性団体行政・放課後子ども教室推進・霞ヶ浦公民館運営・文化芸術振興事業
【期待される効果】 各種講座を開催することにより、生涯学習団体の育成、活動推進を図る。	【対象者】 市民全体
【全体概要】 千代田公民館の各種事業に係る費用。自ら学習活動に参加し、その中で学ぶ楽しさや喜びを感じながら自己実現を図ることができ、生涯学習としてとらえた講座を計画する。	【特記事項】
【平成25年度 事業内容】 教育、学術及び文化に関する各種定期講座を開催した。	【平成26年度 事業内容】 教育、学術及び文化に関する各種定期講座を開催した。
	【平成27年度 事業内容】 教育、学術及び文化に関する各種定期講座を実施する。また、終了した講座の活動内容や講座募集等について「ふれあい生涯学習フェア」の場で発表する。

## ■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	1,132	1,258	764					
	歳入計（千円）	1,132	1,258	764					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	08 報償費	1,112	1,061	747					
	09 旅費	4	2	0					
	11 需用費	16	0	0					
	12 役務費	0	0	17					
	14 使用料及び賃借料	0	195	0					
歳出計（千円）（A）	1,132	1,258	764						
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	1,303	伸び率(%)	決	-39.2	予	-41.3
職員人工数	0.70	0.60	1.00						
職員人件費（B）	5,642	4,628	7,950						
総事業費（A）＋（B）	6,774	5,886	8,714						

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	講座の開設	件	目標	28.00	21.00	12.00
	講座の開設数		実績	28.00	21.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	講座の年間受講率	%	目標	75.00	75.00	75.00
	講座の募集定員に対する受講者の割合		実績	97.24	85.42	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 総合計画により実施するものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 事業を通して、健康寿命の延伸や地域コミュニティの円滑化など、市政運営に貢献しているため、必要である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 市民のニーズに応じた講座の開催が必要である。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> ②の理由で影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 生涯学習の推進を図るためには、事業を実施することは、妥当である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 人件費については、職員は2人しか配置されておらず、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 受益者負担の原則で事業を実施するよう努めている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	生涯学習を推進するため市民のニーズに対応した各種講座の開催や団体の育成を図りながら事業を展開していく。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 仲間づくり、生きがいつくり、健康づくり等の観点から、健康寿命の延伸に貢献している「自主的に活動する文化団体」の会員数が高齢化により減少傾向にあることから、新しい同好会、サークルの設立を意識した大人向けの趣味の講座を開講すること。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 学びの成果を発表する機会を数多く設けるなどして、市民の学習意欲を高めることや励みとなるよう努めてください。		